

公立保育所再配置計画たたき台に対するグループ討議内容

【7/21 天羽地区】

A グループ

意見
<ul style="list-style-type: none">・金谷保育所…木造園舎の老朽化、台風による施設被害が甚大である現状を踏まえ、小規模保育所の設置は早急に取り組むべき。・小規模保育事業 A 型の保育士配置基準に対し、現在の公立保育士数で運用可能なのか？不可能であれば、新たな保育士確保策が必要。・送迎ステーションから中央保育園のバス送迎は民間委託か、バスの台数、ルートなどシミュレーションはしているのか？・3歳以上児の集約、3歳未満児は公立の小規模保育所という形態は異年齢と関わる機会が無くなる。保育所の幼稚園化にならないか？・公立保育所の再配置について、地元住民に説明をしているのか？・3歳以上児を集約する中央保育所や他の小規模保育所の開設時間は？・小規模保育事業所が送迎ステーションとして、機能する時間帯に示されている保育士の配置基準の保育士だけで対応できるのか？

B グループ

意見
<ul style="list-style-type: none">・統廃合は仕方ないかなと言う感じ。合併した形が良くなるかな。普通の保育所の合併もあるかも。・公立保育所の良さは保育料、保護者のニーズに対応できること。市と連携している、市として対応していける。・公立・私立同じ富津市の子どもを育てているというスタンスは大事。・天羽地区民間にすべきか、公立か？もう既に民間があるから、公立の良さがあるのでは？・中央保育所は公立でも良いのではないか。・3歳以上は公立でも良いのでは？民間の良さ。

- ・保護者の立場で考えると、金谷地区に3歳未満児の送迎ステーションがなかったら、キツイと思う。働いていると送迎が大変。
- ・祖父母の送迎も多い。歩いてくる人もいる。ステーションは大事である。
- ・子どもの人数が少ない。今の児童数の状況から統合は1つの手と考える。
- ・中央保育所の施設も古い。公立・私立どちらでも、経営していくことが大事。
- ・天羽地区は面積が広いので、各地域に保育所があった。小中学校も統合された。幼保もそうになっていこう。その中で3歳未満児と以上に分けて考えたのは、発達段階として正解と思う。
- ・地域に1つは保育所が欲しい。働くためには身近にあって欲しい。
- ・3歳以上は大人数。
- ・私立の方が特色を出しやすい
- ・市外からの利用もある。
- ・公立・私立のどちらかというより、預けやすい場所が良い。
- ・公立と私立が目指すもの。
- ・未満児は公立、以上児は私立 人数が少ない中で子どもたちの刺激は必要。
- ・0歳から6歳の成長を追って見ていきたい
- ・地域の活性化が大事。行政だけではなく。
- ・子どもたちの教育を担保してあげること。

C グループは次ページ

意 見

- ・金谷のステーションの移転、施設の設置を早急に整えていくことが必要。
- ・こども園との連携により3歳以上児の人数の調整ができれば、中央保育所の改修を行う時に施設の規模を抑えることができるのではないか？
- ・バスは何台稼働するのか？当日急な欠席の連絡手段は？
- ・バスの料金について。保護者の都合ではないので、市の負担でやっていただきたい。3,000円を超えるのは親として負担。
- ・小規模保育事業A型（定員6～19人）の必要性があるのか、再検討が必要と思

われる。→家庭的保育事業（定員1～5人）でも良いのではないのか？

- ・5年後の子どもの数を考えると、現在よりも減少するのではないかと思われる。
- ・特色ある保育所を目指す。

※意見に対する市の考えや質問への回答は改めて作成します。